

平成26年度第2回大和市消防運営審議会議事録

平成27年3月13日（金）

午後2時00分から 消防本部3階第1会議室

（傍聴者なし）

○審議会委員出席者 天野委員、石井委員、加藤委員、北島委員、竹本委員、富澤委員、野村委員、山西委員、力武委員（計9名）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 消防長あいさつ

4. 議題

（1）救急隊6隊運用について

消防総務課長から、救急車増車に向けた今までの経緯と、これを受け、本市救急車を5台体制から6台体制へ平成27年4月1日から変更することについて説明。

5. その他

（1）平成26年度主要事業の実施状況について

消防総務課長から、今年度の主要事業の取り組み状況等を説明。

（2）平成26年（1月～12月）の災害概要（速報値）について

消防署管理課長から、火災、救急、救助の出動件数、原因等について説明。

委員： 火災が増えた原因として放火が多かったことがあげられていますが、放火の時間帯など、わかったら教えてください。

管理課長： 原因ごとの火災発生時間帯等は、統計をとっていないため正確なデータではないですが、火災通報は、人が活発に活動している昼間に多いことが一般的です。しかし放火が多かった4月、5月中の火災通報は、17時以降から深夜帯にかけて多かったことから、夜間に放火されているものと推測されます。

（3）消防車両の更新について

警防課長から、平成26年度更新車両について説明。

（4）大和市少年消防団の概要について

予防課長から、今年度の少年消防団の活動内容及び入団受付状況について説明。

委員： 年々入団者が増加していますが、どうしても人数が増えると担当者の目が行き届かない状況が出てくるので、更に安全面に配慮した運営をお願いします。

(5) 「AEDの日」の制定及びAEDマップの更新について
救急救命課長から経緯等説明。

委員： AEDの使用状況について教えてください。

救急救命課長： 昨年、老人福祉施設周辺で倒れていた人を施設職員が、施設設置のAEDを利用して助けた事例がありますが、なかなか一般の人が使用するまでには至っていないのが現状です。

委員： AEDの使用方法が難しいからなのでしょうか。

救急救命課長： AED自体は、音声案内に従いながら操作するものであり、一度体験して頂ければ特に難しいことはないと思われませんが、倒れている人に対して、落ち着いて対処することのほうが、難しいと感じさせてしまうのではないかと考えます。

(6) 初期消火用資機材整備事業について

消防署管理課長から、自主防災組織への追加配付、コンビニへの設置等平成26年度の取り組み状況を報告。

(7) 高機能指令装置について

消防本部3階指令室に移動し、指令課長から更新した指令台について、新機能等を報告。

(8) その他

委員： 消防行政について様々な情報などいただいておりますが、今後は消防職員の安全面等職員の生活を守りながら職務に当たれるような対策なども審議していければいいと思いました。人と消防資機材について、安全な使用方法などを近隣市などとも連携して情報交換していければと個人的には考えています。

委員： 消防に対する知識と理解が、市民へ更に浸透していったらいいと思いました。

委員： 資機材の保管について、特に倉庫に入れておくものについては、ホコリ対策を施しておかないと、使用不能になることがあるので注意してほしいです。

委員： 再度AEDについて講習を受けたいと思います。

委員： 本市においても高齢化が進んでいることを実感しています。逃げ遅れなどの被害を少しでも防ぐために、地域、行政が情報を共有できるようにしていったらと考えます。

委員： 消防団の資機材について、昔に比べかなりレベルが上がっているのを感じます。団員一丸となって市民を守ってあげればと考えます。

委員： 少年消防団員が、将来消防団員や消防職員になって活躍されることを期待しています。

委員： 東日本大震災から4年が経ち、人々の記憶が風化しているように感じています。震災の3月11日を忘れないように今後も活動していきたいです。

6. 閉会